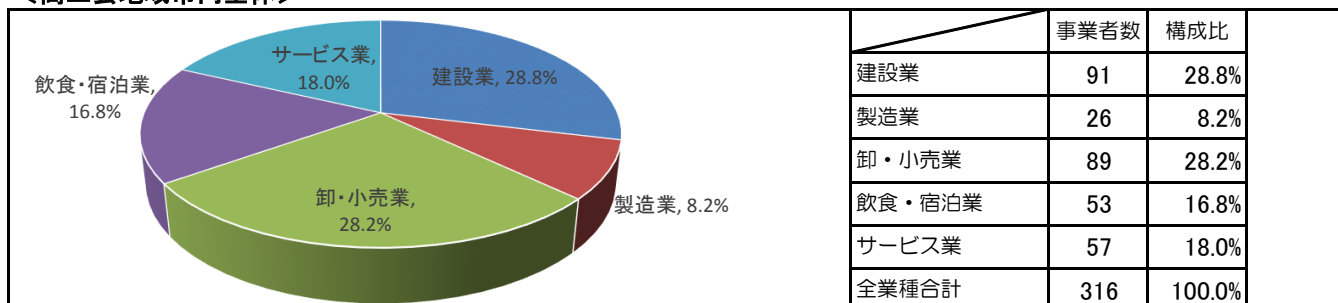


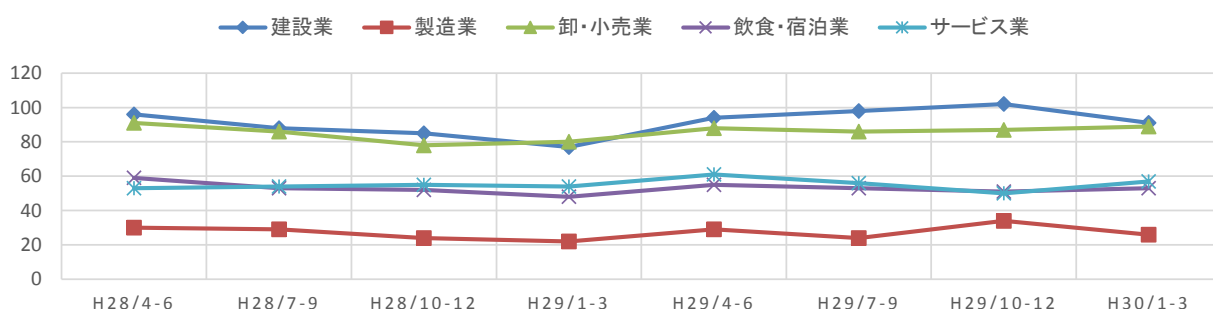
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



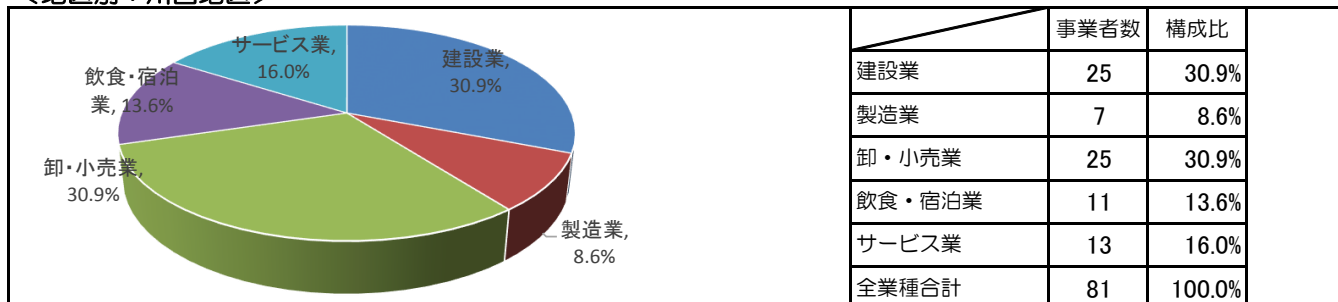
業種別調査事業所数の推移（市内全体）



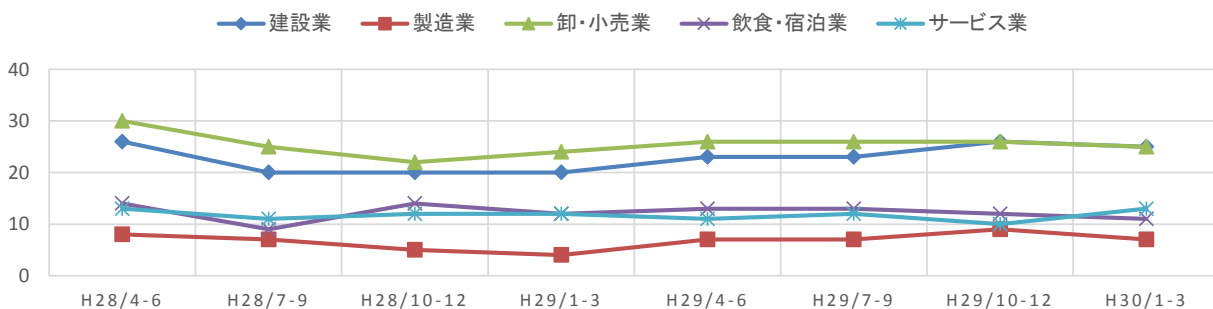
<コメント>

市内商工会地域全体の商工業者1056社の約29.9%からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな偏りのない調査結果である。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移（地区）



<コメント>

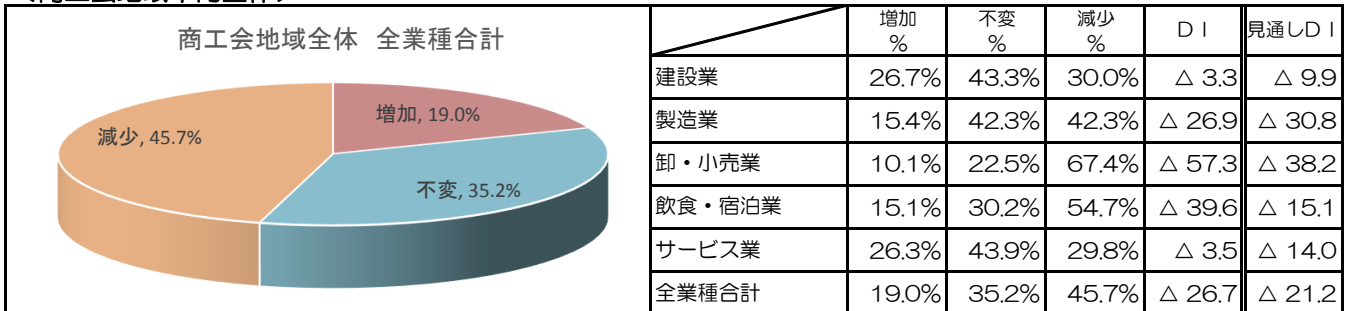
川西地区の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、81社(回収率81%)からの回答を基にした集計結果である。製造業の割合が少ないものの、これまでの調査対象事業所数と同様の数値である。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

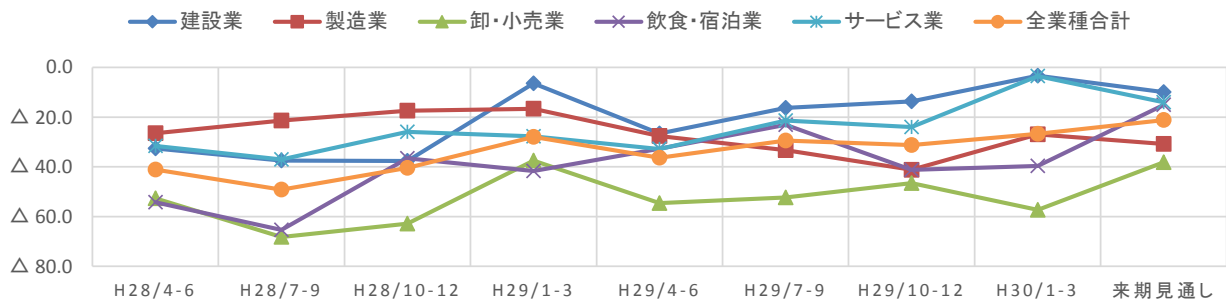
### 1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



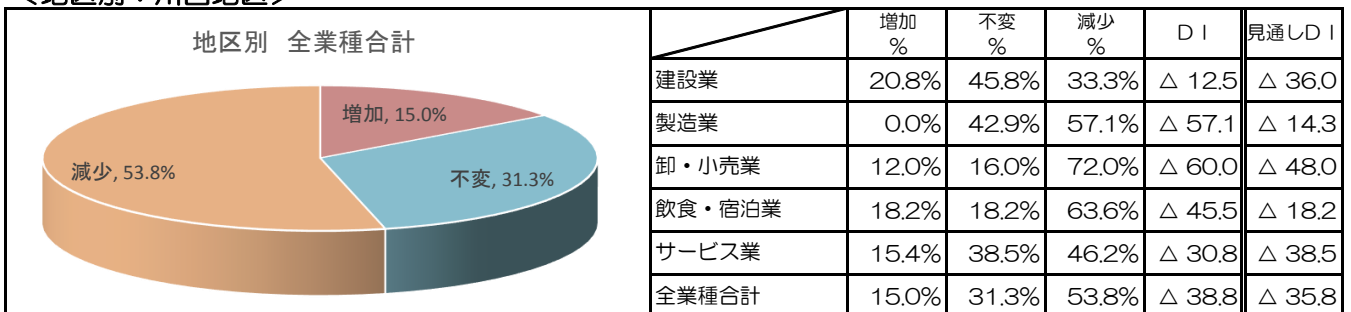
#### 業種別売上の推移(市内全体)



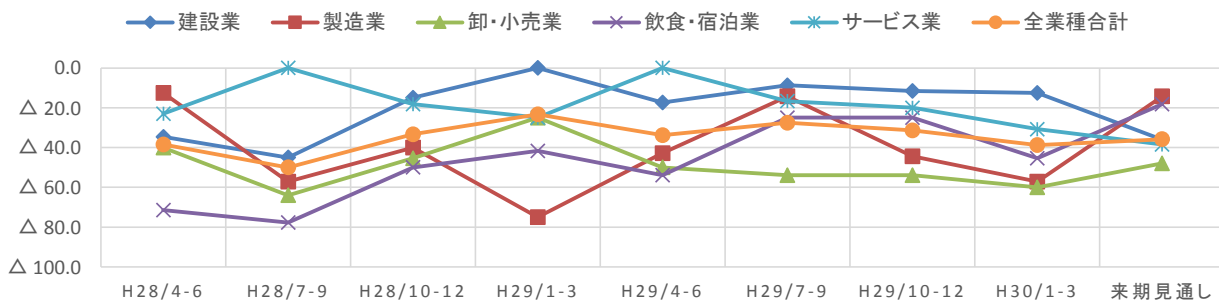
#### <コメント>

売上DIは、前年同期と比較して全業種で26.7ポイント減少となった。依然として卸・小売業の減少が目立つ。来期見通しDIは、全体的に回復傾向にあるものの建設業・製造業・サービス業においては、悪化傾向を予想している。

#### <地区別：川西地区>



#### 業種別売上の推移(地区別)



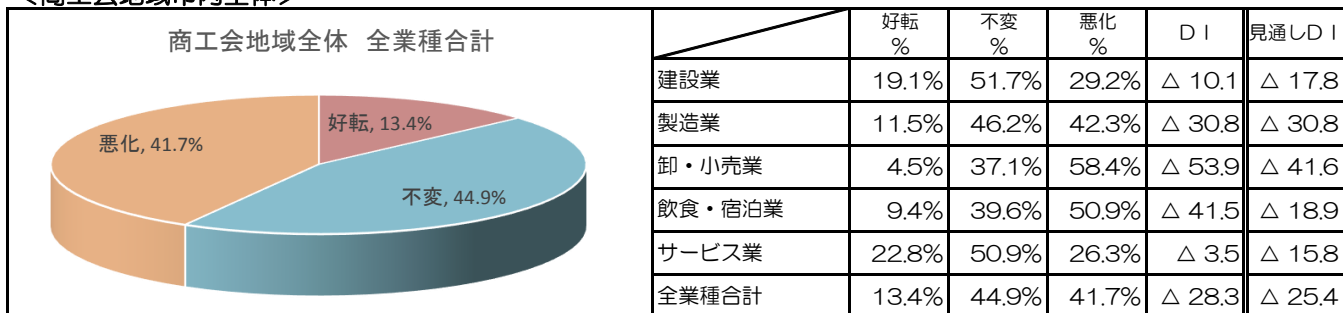
#### <コメント>

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して38.8ポイントの減少となっている。特に製造業、卸・小売業の減少が前期同様に目立っている。来期見通しでは全業種で3.0ポイントの回復を予想している。

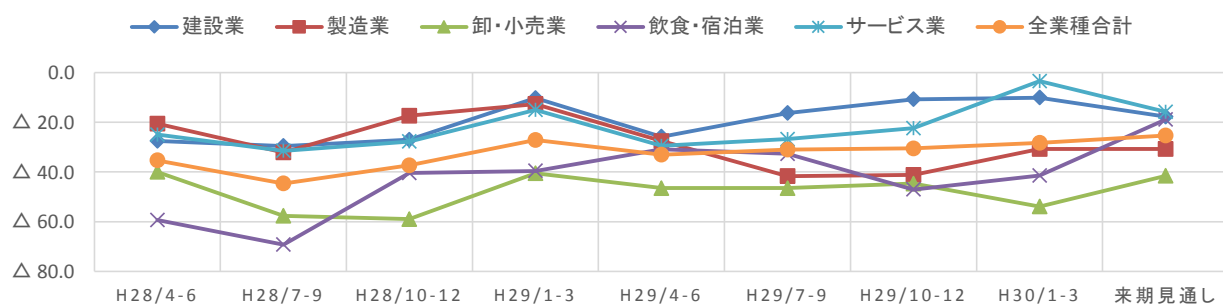
## 2. 採算について

- ・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



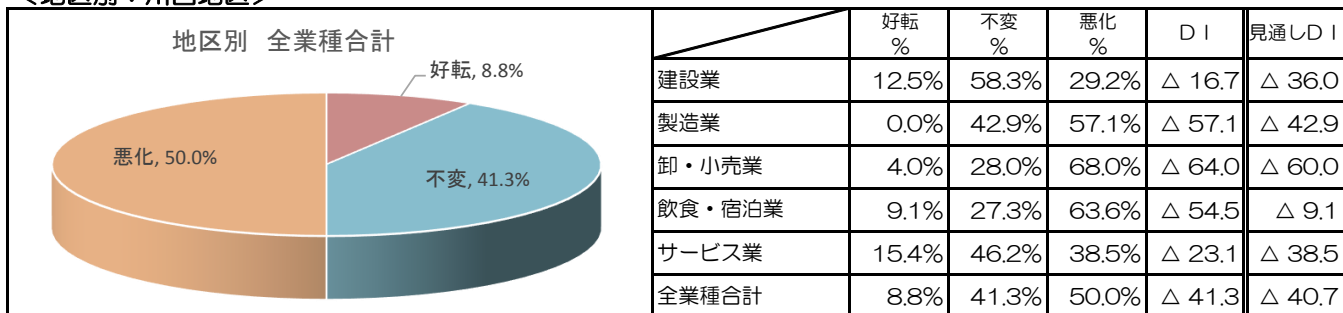
### 業種別採算の推移(市内全体)



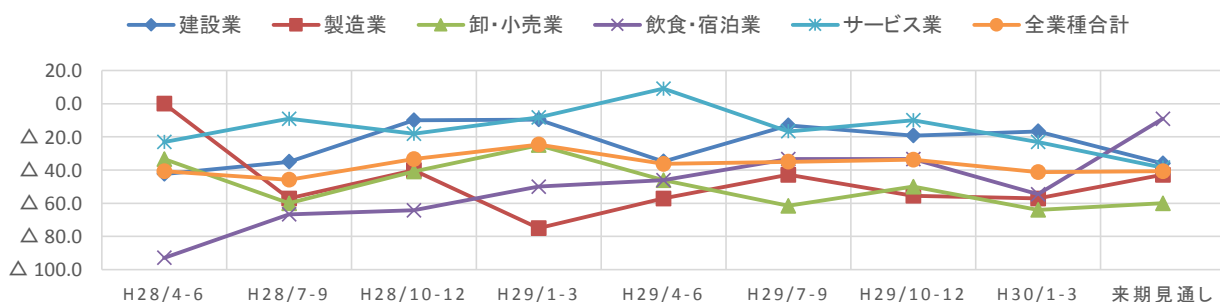
### <コメント>

採算DIは、前年同期と比較して、全業種で28.3ポイント悪化。卸・小売業の悪化が目立つ。来期見通しDIは、売上DIと比例している。

### <地区別：川西地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



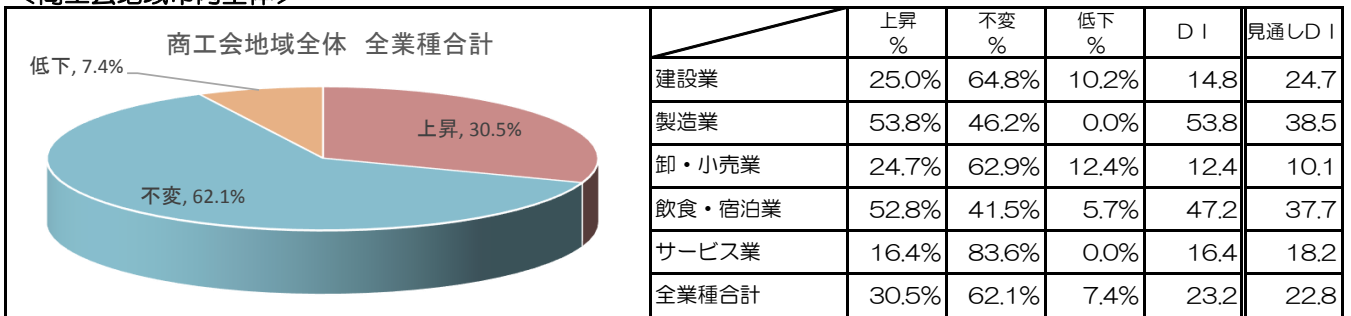
### <コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較して41.3ポイントの悪化となっている。特に卸・小売業の悪化が顕著である。来期見通しでは全業種で0.6ポイントの改善を予想している。

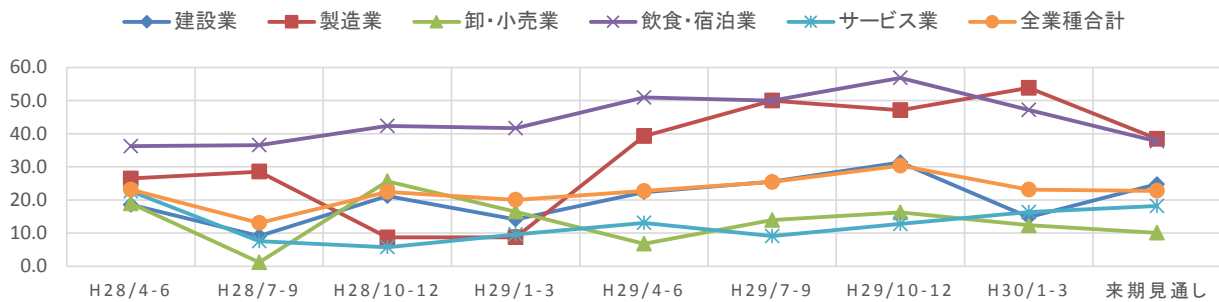
### 3. 仕入単価について

- ・1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



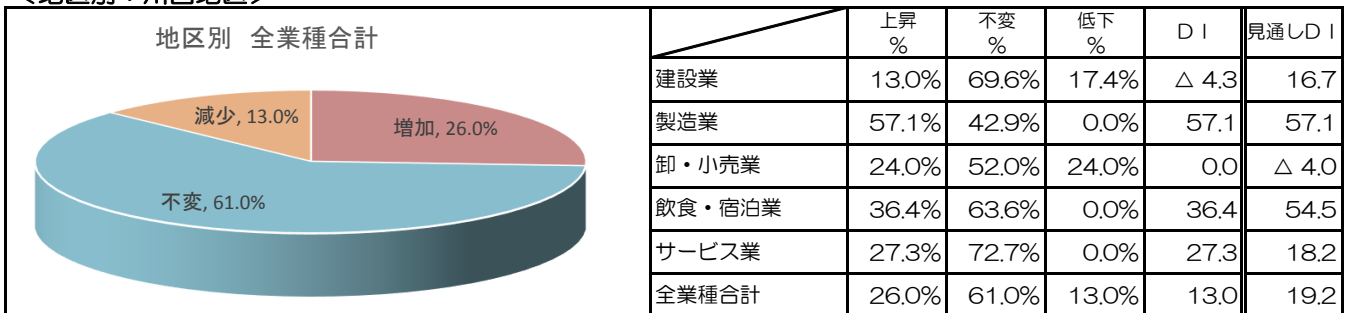
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



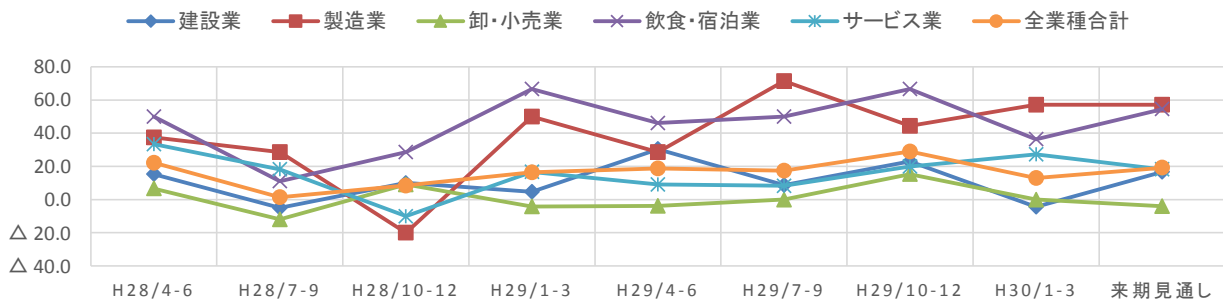
#### <コメント>

仕入単価DIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが23.2ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業及び製造業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げていると思われる。来期見通しDIでは、建設業は上昇予想であるが、その他業種では落ち着いていくと予想している。

#### <地区別：川西地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



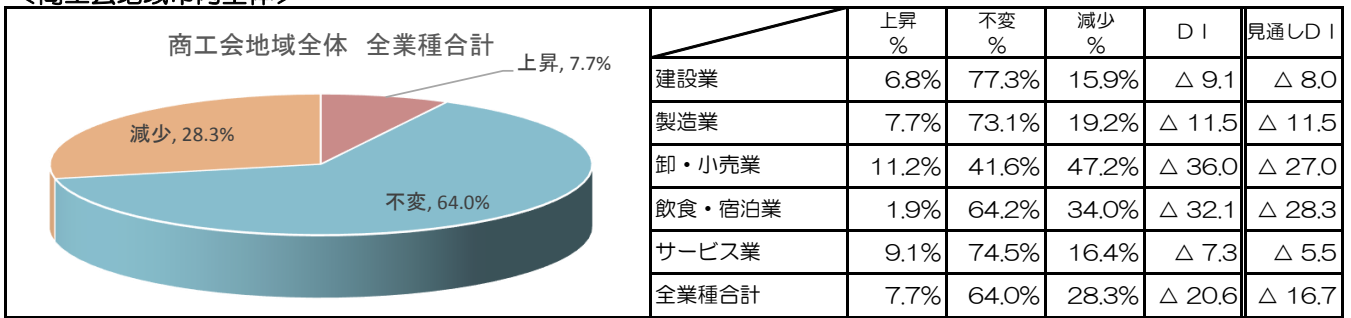
#### <コメント>

川西地域の仕入単価は前年同期と比較して13.0ポイントの上昇を示している。その中で建設業では4.3ポイント改善し、卸・小売業は不変となっている。来期見通しは全業種で6.2ポイントの上昇が見込まれている。

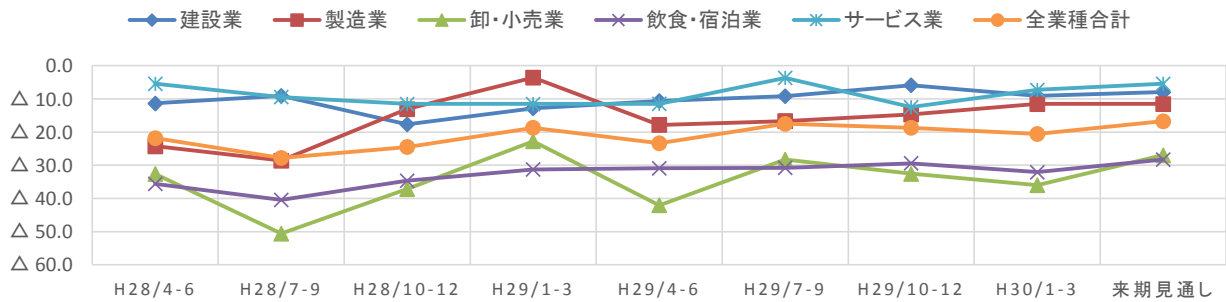
#### 4. 販売（客）単価について

- ・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <商工会地域市内全体>



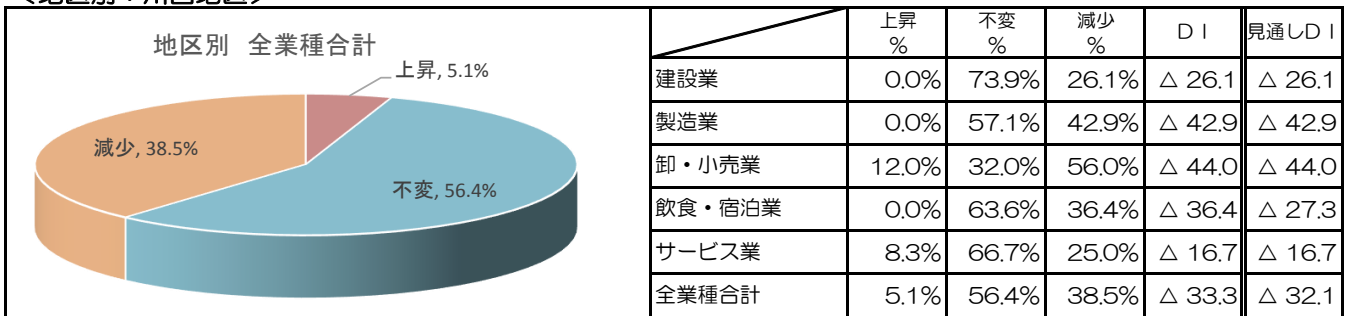
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



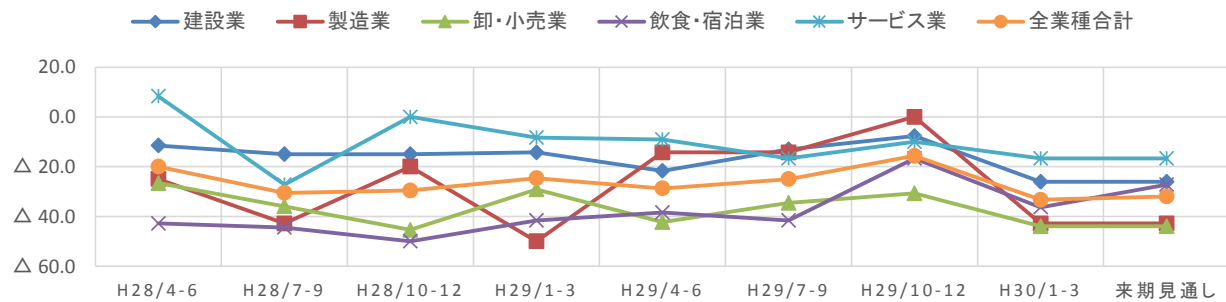
##### <コメント>

販売単価DIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが20.6ポイント低下。卸・小売業及び飲食・宿泊業の低下が目立つ。来期見通しDIでは、全業種で若干回復を予想している。

##### <地区別：川西地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



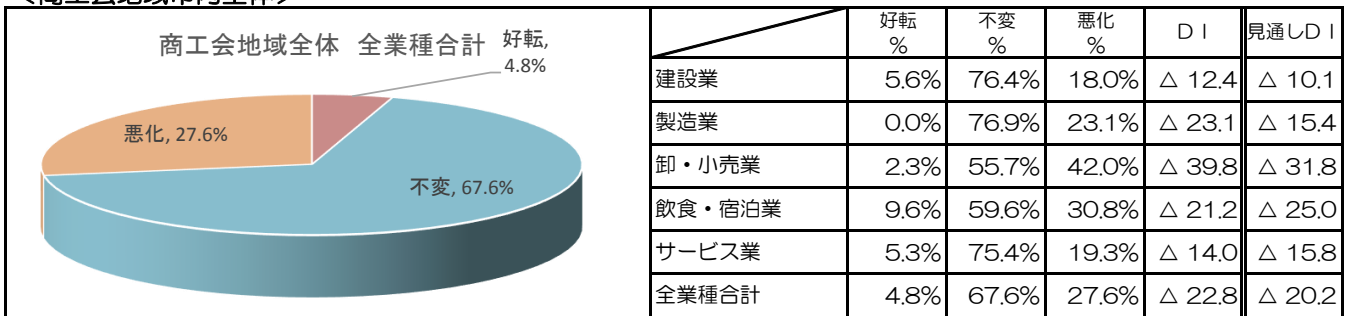
##### <コメント>

川西地域の販売単価は前年同期と比較して33.3ポイントの低下となっている。来期見通しでは全業種で大きく変化はないものの1.2ポイントの回復を示している。

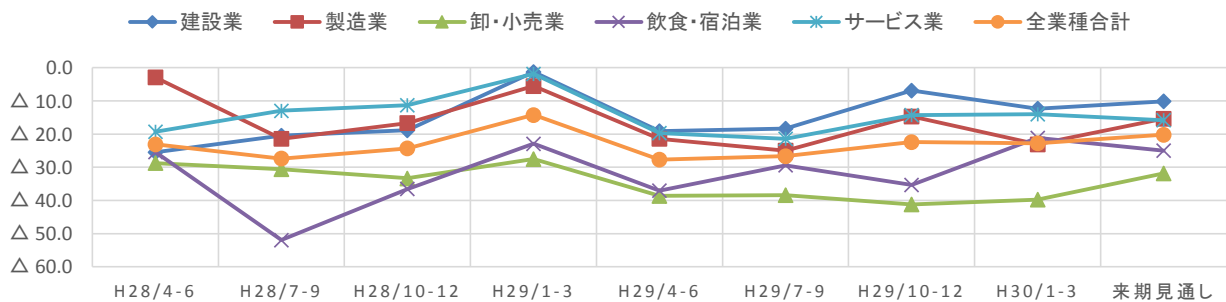
## 5. 資金繰りについて

- ・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



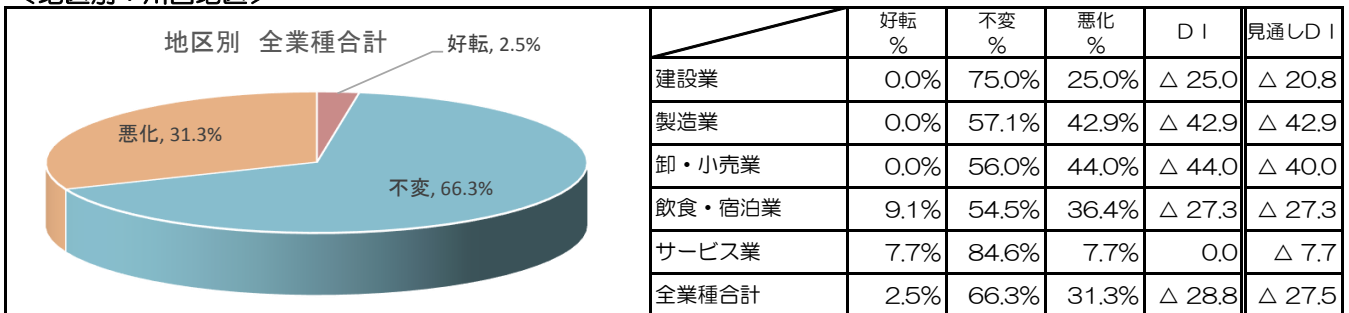
### 業種別資金繰りの推移(市内全体)



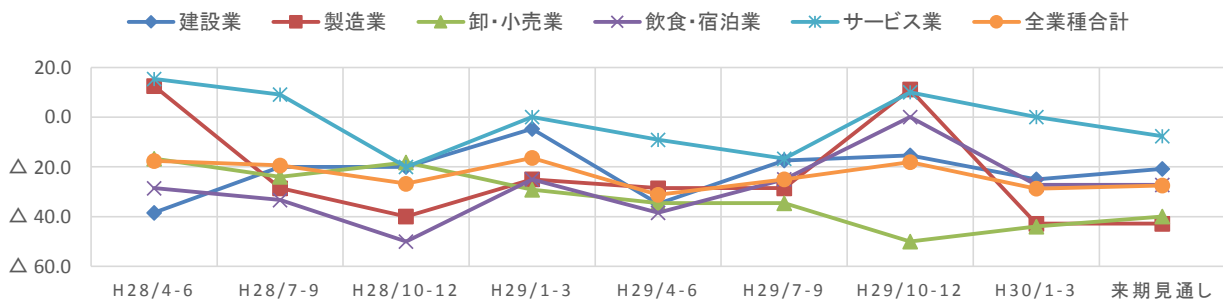
### <コメント>

資金繰りDIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが22.8ポイント悪化。依然として、卸・小売業の悪化が目立つ。来期見通しDIでは、全業種では若干改善を予想しているが、飲食・宿泊業並びにサービス業は悪化を予想している。

### <地区別：川西地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)



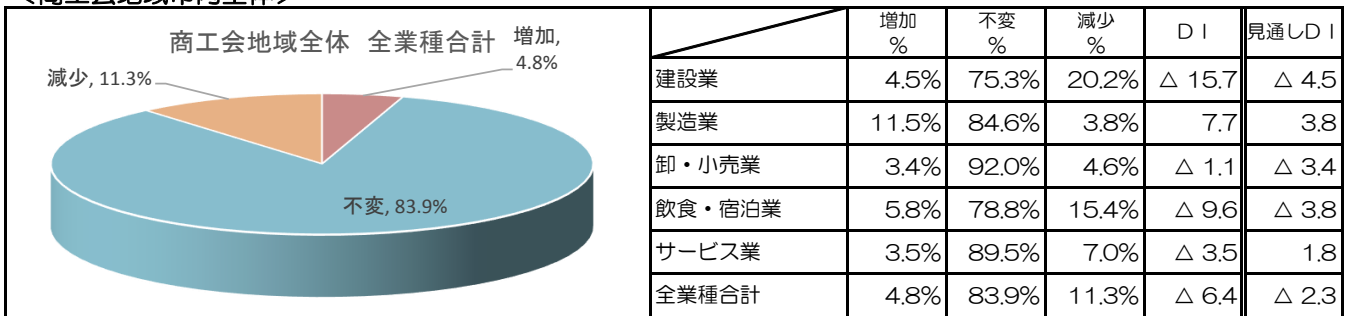
### <コメント>

川西地域の資金繰りは全業種で28.8ポイントの悪化であるが、サービス業においてのみ不変を示している。来期見通しは全業種で1.3ポイントの改善が予想されている。

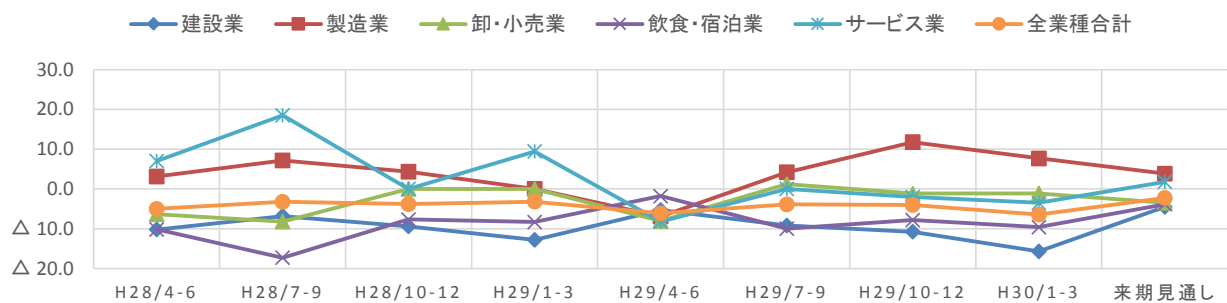
## 6. 従業員数について

- ・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



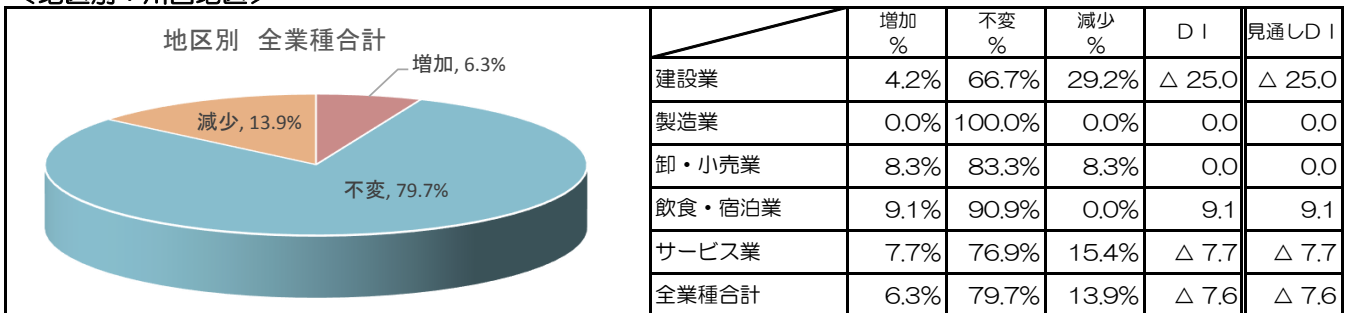
### 業種別従業員数の推移(市内全体)



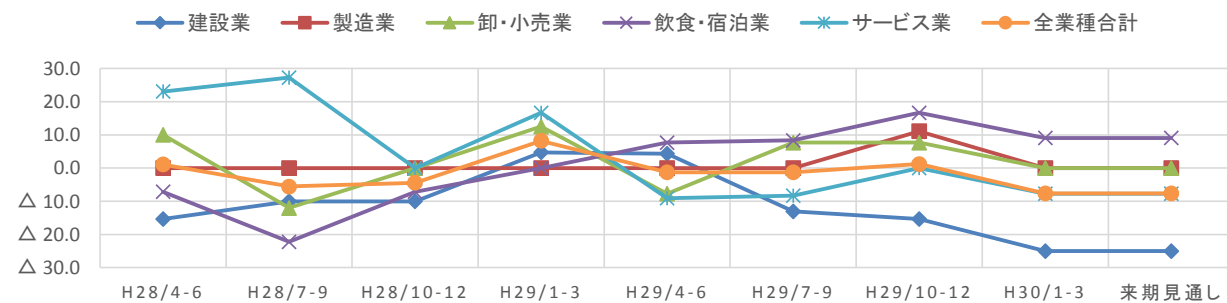
### <コメント>

従業員数DIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、6. 4ポイント減少。但し、製造業は7. 7ポイント増加した。来期見通しDIでは、製造業及び卸・小売業以外は増加を予想している。

### <地区別：川西地区>



### 業種別従業員数の推移(地区別)



### <コメント>

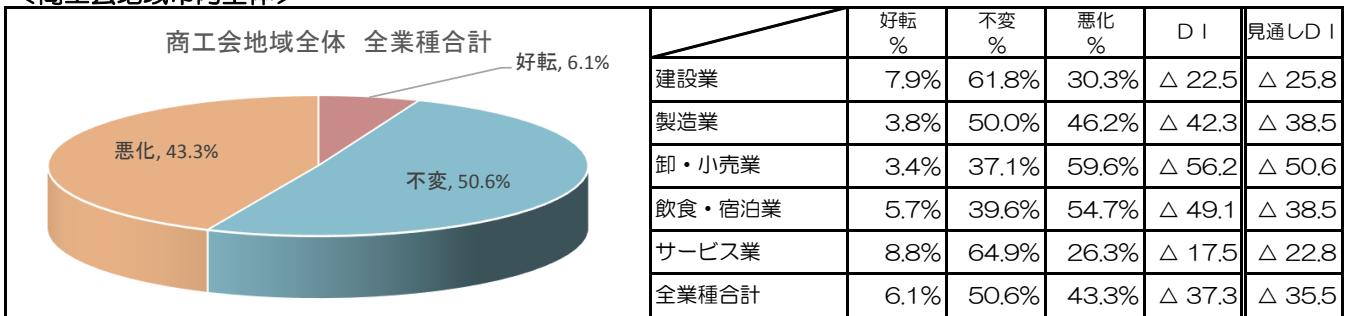
川西地域の従業員数は7.6ポイントの減少であり、特に建設業における従業員数の減少が目立つ。来期見通しは全体的に今期と同様との予想を示している。



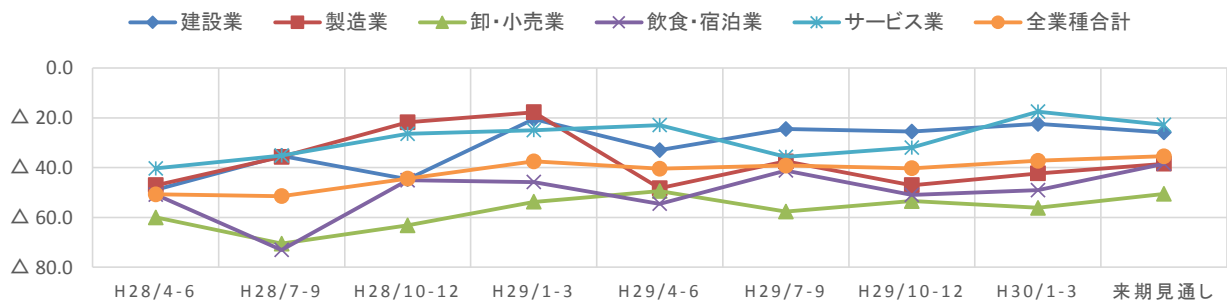
## 7. 景況判断について

- ・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



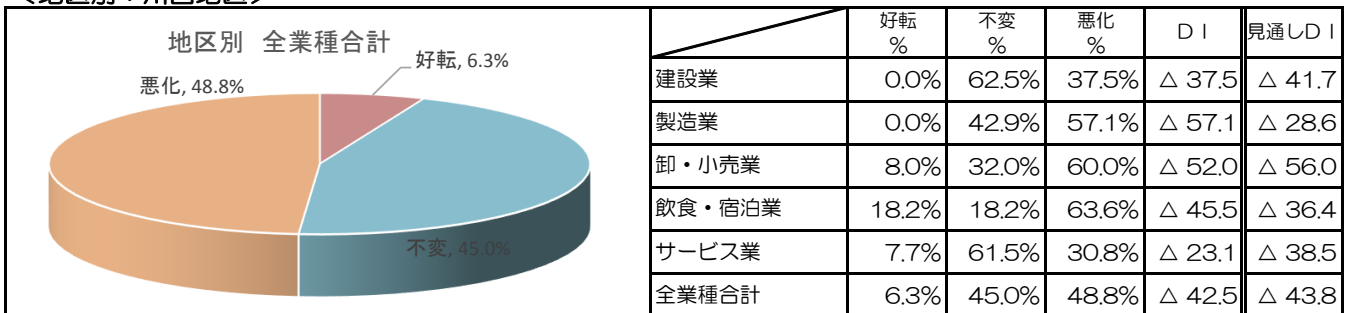
### 業種別景況判断の推移(市内全体)



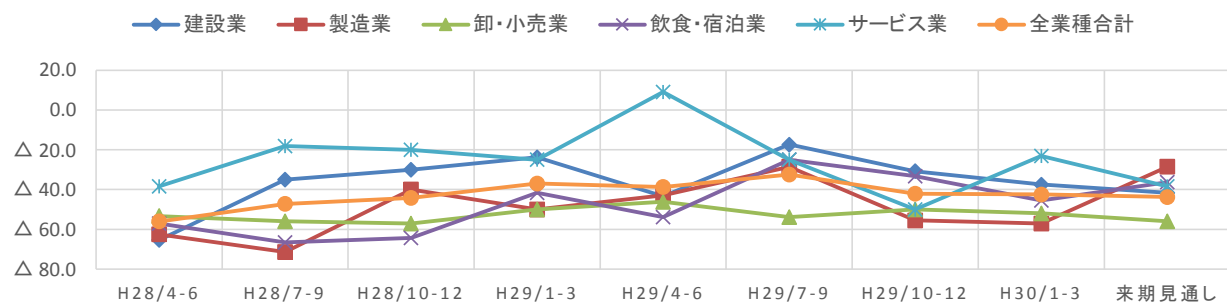
### <コメント>

景況DIは、前年同期と比較して、全業種で37.3ポイント悪化。特に、卸・小売業及び飲食・宿泊業は半数以上が悪化と回答。製造業も悪化傾向である。来期見通しDIは、全業種で35.5ポイント悪化予想であり、厳しい見方をしている。

### <地区別：川西地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)

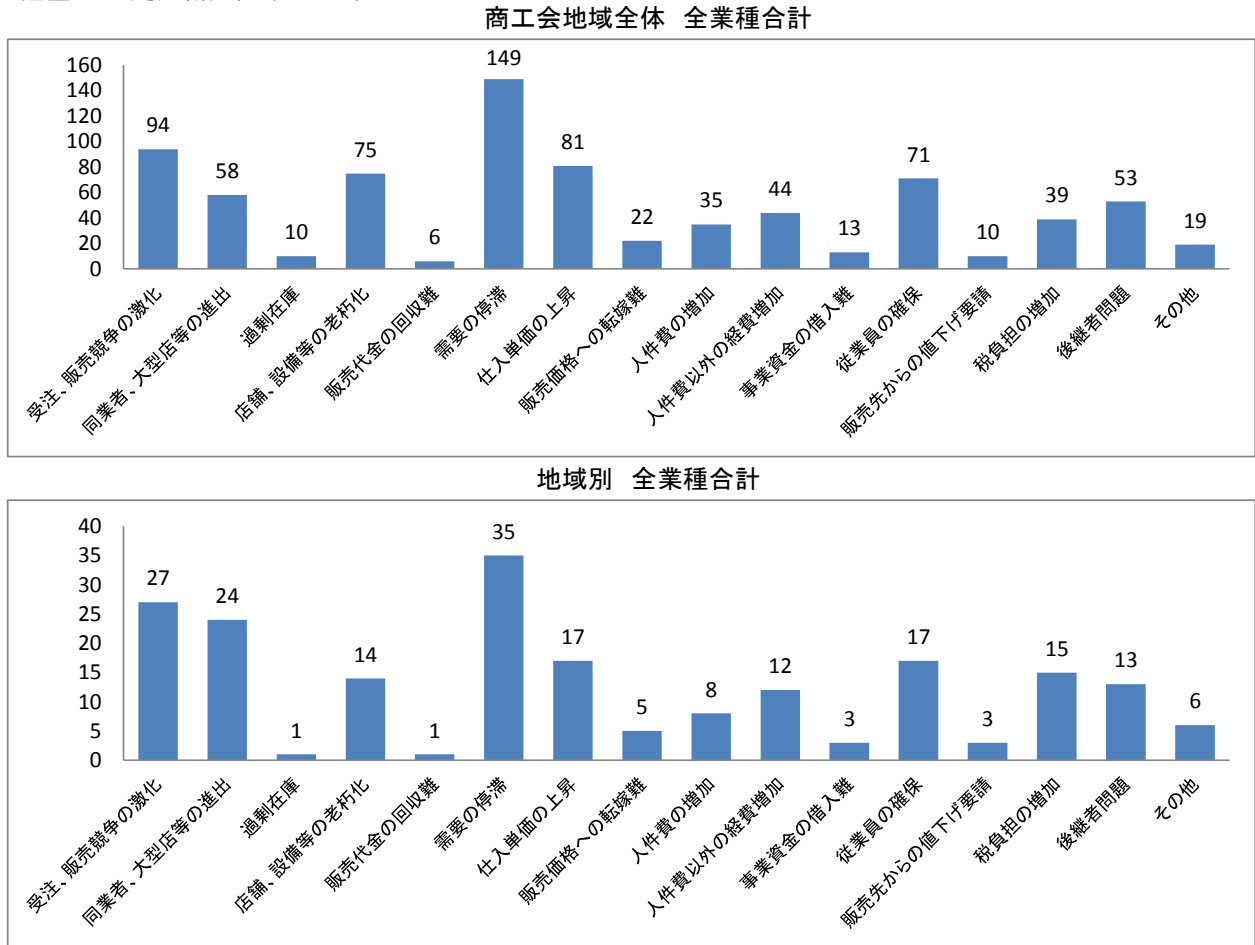


### <コメント>

川西地域の景況判断としては全業種で42.5ポイントの悪化を示しており、特に製造業、卸・小売業での景況感の悪化が顕著である。来期見通しとしては1.3ポイントの悪化が見込まれている。



## 8. 経営上の問題点（上位3つ）



### <コメント>

経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「仕入単価の上昇」であった。

## 9. 地区の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

### 【建設業】

建設業においては「販売単価」「資金繰り」「従業員数」が悪化しているとの回答が多く、中でも「従業員数」については全業種の中で特に悪化しているとのことであった。また、経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「受注販売競争の激化」3位「税負担の増加」となっており、従業員の確保のみならず工事の安定的な受注が今後の目標であるといえる。

### 【製造業】

製造業においては「売上」「採算」など全体的に悪化との回答が多いが、「従業員数」に関してはこれまで不変の状態が続いている。経営上の問題点としては1位「仕入単価の上昇」2位「需要の停滞」3位「受注販売競争の激化」「店舗、設備等の老朽化」「税負担の増加」が挙げられており、前期同様に仕入単価の上昇や需要の停滞からの脱却が今後の課題である。

### 【卸・小売業】

卸・小売業においては「売上」「採算」「販売単価」の悪化が顕著であるが、「仕入単価」や「従業員数」は不変であるとのことであった。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」3位「受注販売競争の激化」となっており、需要の停滞を感じる中で競合他社を意識している事業所が増加している。

### 【飲食・宿泊業】

飲食・宿泊業においては全般的に悪化傾向にある中、「従業員数」においては全業種の中で唯一改善を示している。経営上の課題については1位「従業員の確保」2位「同業者、大型店等の進出」「店舗、設備等の老朽化」「需要の停滞」「仕入単価の上昇」「人件費以外の経費増加」であり、多くの同業者が同様の問題点を挙げている中、従業員の確保を課題と捉えて取り組んでいる事業所が増えている。

### 【サービス業】

サービス業においては「売上」「仕入単価」の悪化との回答が多い中、「資金繰り」に関しては不変の状態となっている。経営上の課題については1位「同業者、大型店等の進出」2位「店舗、設備等の老朽化」3位「受注、販売競争の激化」「需要の停滞」「従業員の確保」となっており、同業者や大型店との競合が課題として挙がる中、店舗・設備への投資を考える事業所が増加している。